



須江小だより

No.13

令和7年3月3日発行

新体育館で朝会

校長 佐々木 淳

先日、暖房の入った真新しい体育館で朝会を実施しました。コロナ禍と体育館建築でずっとリモート実施だったのですが、1年9か月ぶり、今年度としては初めての体育館での朝会となりました。

いつもは教室や廊下で学年・学級別に過ごしている子どもたちが、目の前に一堂に会しています。「あの子もこの子もみんないる。先生方もみんな集まっている。これが須江小の本来の姿なんだ」と改めて思い、感慨深いものがありました。



6年生が「須江小っ子運動」の全校唱和をリードします

今回は、旧体育館から引き継いで掲示している三つの歌の卒業制作を話題にして、実際に音声を流しながら話しました。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 「ふたば会のうた」昭和56年度卒業記念制作 | …児童会活動で歌っています |
| 「交流のうた みんな仲良し」平成6年度卒業制作 | …支援学校との交流で歌っています |
| 「須江小学校校歌」平成3年度卒業制作 | …昨年度二部合唱化しました |



体育館前面に三枚の卒業制作を掲示しています

特に「交流のうた みんな仲良し」は、学習参観日の保護者内覧会においてになった方々が「私たちが6年生の時に制作したんだよ」と懐かしそうに話しておられたことが私の心に残りました。そこで、支援学校との交流の歴史、歌が過去から現在、そして未来へと繋がっていくことなどを詳しく話しました。

子どもたちは整然と並んで最後まで静かに話を聞きました。全体に視線を配りながら話を進めると、ほとんどの子どもたちと目が合いました。放送でマイクに向かって話しているときは全く違う手ごたえを感じました。